

**戦前期警察関係資料集 第Ⅱ期**  
**岡山県特高警察資料**

●概要 編集復刻版 全4巻

●主な収録内容(巻数は「第Ⅰ期」から継続)

- 5巻 昭和天皇即位大礼警備関係資料、行啓警備資料、岡山県警察部特高課編集資料、警視庁回付調査書等、特別資料(松野友治自著抜粋及び直筆メモ、内務省警保局調査)
- 6巻 三・一五事件検挙関係資料、四・一六事件検挙関係資料、特高事務関係資料
- 7巻 警備関係資料、岡山県高等課特高事務調査書、特高課設置申請資料
- 8巻 内務省警保局調査書、高等課職務日誌、申通報等、運動団体現物資料等

●体裁

A4判・上製本・四面付・総約1900頁

●原本提供

岡山県立記録資料館

●解説(各巻頭に収録)

廣畑研二

●推薦

秋定嘉和 (京都部落問題研究資料センター所長)

加藤哲郎 (一橋大学名誉教授・早稲田大学客員教授)

●定価

本体揃価格 120,000円十税

ISBN 978-4-8350-6388-1

●刊行

2012年11月

●廣畑研二 編・解説  
**戦前期警察関係資料集 第Ⅰ期 全4巻**

●A4判・上製・四面付・総1,366頁  
●揃定価 本体価格112,000円十税  
●06年10月刊(編集復刻版)

●推薦 秋定嘉和・荻野富士夫

本資料集は戦前期の社会運動に対する警察認識を示す歴史的資料を編集復刻したものである。第1巻には初期水平運動に関する資料を収録。第2巻には日露国交回復交渉前後の外事警察に関する資料を収録。第3巻には昭和天皇の即位大札に関する資料を収録。そして第4巻には知事交代時に道府県情報を掌握するために作成された「知事事務引継書」のうち、京都府と大阪府の資料を収録した。新資料を多数収録し、運動側の資料を補うものである。

●荻野富士夫 編・解説

**特高警察関係資料集成**

●第Ⅰ期 全30巻・別冊1

●A4判・上製・総14,300頁

●揃定価 本体価格775,000円十税

●91年6月・95年3月配本完結(編集復刻版)

●推薦 今井清一・奥平康弘・松尾尊光・由井正臣・渡部 徹

●第Ⅱ期 全8巻

●A4判・上製・総3,208頁

●揃定価 本体価格200,000円十税

●04年6月・12月配本完結(編集復刻版)

●推薦 伊藤 晃・加藤哲郎・田中真人

本資料集は、特高警察に関する膨大な資料の中から二のテーマに分け、整理・復刻したものである。権力の弾圧・抑圧の幅と奥行きを示すことにより、特高警察体制の全体像を提示する。

第Ⅱ期は米軍没収資料や旧中野警察学校所蔵資料等、第Ⅰ期に未収録の資料、新発見の資料を編集復刻したものである。

●廣畑研二 編・解説

**一九二〇年代社会運動関係警察資料**

●全12リール・別冊1

●別冊 解説・総目次・索引

●揃定価 本体価格200,000円十税

●03年11月刊(マイクロフィルム版)

●推薦 荻野富士夫

収録してある一五点の文書は、一九二〇年代の社会運動取締りに関する警察資料である。資料源は内閣書記官室、内務省警保局、警視庁警視総監室であり、新発見資料も多数含まれている。戦前期警察関係資料の空白を補うものとして貴重である。

●表示価格はすべて税別。

**不二出版**

〒113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話 03-3812-4433  
ファクシムル 03-3812-4464  
振替 001600294084

2012/10

大逆事件以降の特高警察体制がどのように全国に構築されたのか、その過程を示す貴重な資料群を編集復刻!

**戦前期**

**警察関係資料集 第Ⅱ期**

**岡山県特高警察資料**

編集復刻版

全4巻

A4判・上製本・四面付・総約1900頁  
定価 本体揃価格120,000円十税  
2012年11月一括刊行

廣畑研二 編・解説

大正十四年

特別要覧警察令等状況調査

岡山県

秘

御大禮警備取締要綱

岡山県警察部



一地方警察官の所蔵資料の範疇にとどまらず、内務省警保局、警視庁など中枢機構の新資料も数多く収録。

不二出版



## 復刻にあたって

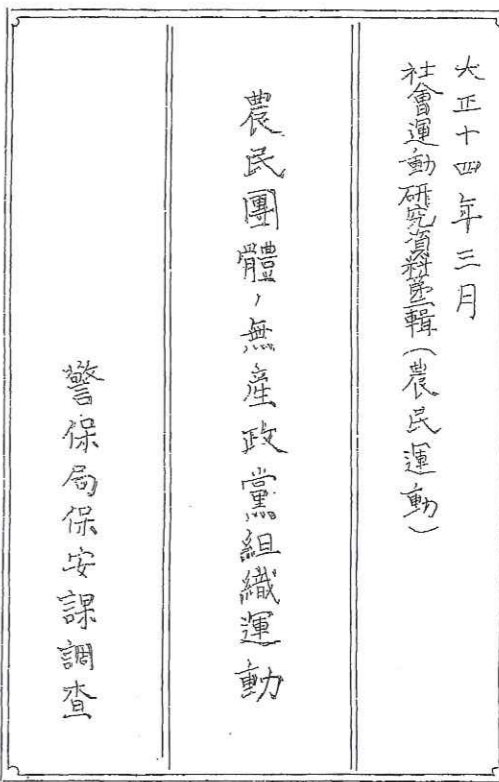
本資料集は松野友治（一八九五～一九九八）という一警察官が岡山県警察部在職中に、自らが編集に携わった特高警察資料及びその関係資料をまとめたものである。現在、この資料は岡山県立記録資料館に保管されているが、部外の研究者としては編者の廣畑氏がはじめて閲覧を許され、資料枚数にして五五〇〇枚を超える全容が今回ようやく明らかにになった。

資料の特徴は次のようなものである。岡山県警察部の特高事務二五年間のうち、初期十年間（一九二〇～一九二九）の事務内容を通覧できる。岡山県警察部のみならず、内務省警保局や警視庁などから回付された、研究史上知られていない新資料が含まれている。松野が高等課長在任中の詳細な職務日誌、及び高等課所管の公職選挙に関する資料が含まれている。警察作成資料だけでなく、特高警察の視察対象となった各種の運動団体が刊行した原資料が含まれる他、松野直筆のメモも多数残されている。

本書ではこれらの資料のうち公職選挙に関する公開情報を除いた、特高警察資料及び松野の高等課長時代の職務日誌等、約三三〇〇枚の資料を四巻に分けて収録し、『戦前期警察関係資料集 第二期』として位置付け、近現代史研究者に提供する。

（不二出版）

## 内容見本



右/11-5 「社会運動研究資料第二輯」  
中/14-14 「学生社会科学會聯合會」(機関紙)  
左/1-3 「幸徳秋水ノ獄中ヨリ弁護士ニ贈ル書」(写し)

## 廣畑氏の業を推薦する

秋定嘉和（京都部落問題研究資料センター所長）

最近「社会運動史」への関心は減少したようにみえる。このなか、意欲的に頑張っている出版社が不二出版である。歴史資料の復刻を中心にしながら、新しい出版を重ねている。

現在、研究者の世代交代をみるなか、その研究関心やテーマも変化してきている。このような状況において、これまでの貴重な「業」を継承していくのは社会的責任とも言えるのではないだろうか。

すでに日本社会は戦後初めての亀裂を露呈しているのだが、次の世代にどのように伝わっているのか、伝わるのかが問われるところである。

今回刊行される『戦前期警察関係資料集第二期 岡山特高警察資料』の編・解説をされた廣畑氏は、その継承に名乗りをあげた。

今回は岡山県の資料群に着目されているが、このような着眼点で各府県に目配りをされると研究者に益するところは大きい。

この道筋はみず書房の『現代史資料』、東洋文化社の『社会問題資料叢書』に連なるものである。このような流れが絶えることなく続いていくことを期待したい。

われわれは社会的営為のなか、「いま」があるのだが、その記録は残し続けたいものである。

## 全国的意義を持つ天皇制警察と

### 社会運動のせめぎあい

加藤哲郎（二橋大学名誉教授・早稲田大学客員教授）

社会運動史で岡山県といえば、戦前から重要な活動家を送り出してきた。「日本社会主義の父」片山潜に第一次共産党・労農派の山川均、女性でも福田英子や久津見房子がいる。カルフォルニア大学ロサンゼルス校所蔵日系移民資料で、米国西海岸のアジア人労働運動を調べると、岡山出身で早稲田大学建設者同盟から軍研事件への弾圧を逃れて渡米した健物貞一が『階級戦』『労働新聞』編集長として活躍し、「第二の片山潜」とよばれていた。

その岡山県の特高警察資料が、松野友治という几帳面な警察官のもとにまとまって残されていたとのことで、本復刻版への期待は大きい。これまでの『特高警察関係資料集』等に入っていない初公開の全国的資料があり、現地の水平社運動、朝鮮人運動や旧制六高学生運動の監視記録が貴重である。

私の関心からすると、二つの点を、この資料から知り、確かめたい。

一つは、大逆事件の森近運平、皇太子の山陽道行啓、昭和天皇即位大禮警備、それに日本共産党の治安維持法検挙に関わる、天皇制と社会運動の地域におけるせめぎあいの具体像である。松野友治の高等課職務日誌や執務メモ、戦後の私家版回想「螢籠」から、まずあたってみよう。

もう一つは、一九二〇年日本社会主義同盟についての松野友治の記録である。編者廣畑研二氏によれば、これまで判明した個人加盟者一四〇〇人以上のなかで、大都市圏を除けば岡山県出身者七〇人が突出しているとのことである。三・一五事件でも、岡山に関係する検挙者は多いと言うが、片山潜・森近運平・山川均らを輩出した伝統とどう関わるのか知りたい。

岡山県はまた、戦前海外移民送り出しの有力県でもある。米国西海岸や中南米の日本人・日系人運動の中では、沖繩や岡山の県人会が重要な役割を果たした。本書で監視され記録された運動の流れが、世界に移植されたのではないかと、注目して。

## 推薦します



第5巻 『岡山県警察部特高課関係資料1』

- 資料1 昭和天皇即位大札警衛関係資料
1-1 御大札警備取締要綱 岡山県警察部 昭和3年8月
1-2 御大札ニ関シ各種要視察人ノ視察警戒方ノ件 岡山県知事 昭和3年6月7日
1-3 幸徳秋水ノ獄中ヨリ弁護士ニ贈ル書(写し)
1-4 お日度いこと
1-5 申通報 特別高等警察関係電話番号ノ件 昭和3年10月18日
1-6 要視察人視察計画書
1-7 即位大札に伴う視察計画書
1-8 普通要視察人略式名簿ニ関スル件 岡山県警察部長 昭和3年8月21日
1-9 御大札特別移動警察勤務心得 昭和3年10月
1-10 講演コース 金子核事
1-11 御大札ニ関シ特別警戒ヲ要スル人物調査表 特別高等課 昭和3年8月末現在
1-12 要視察人(共産主義系)一覽表等
資料2 行幸政警備取締要綱 岡山県警察部 昭和4年3月
資料3 岡山県特高課蒐集・編纂調査書
3-1 特別高等警察資料第一輯 岡山県特別高等課 昭和3年8月
3-2 特別高等警察資料第二輯 岡山県特別高等課 昭和3年9月
3-3 特別高等警察資料第三輯 岡山県特別高等課 昭和3年10月
3-4 特別高等警察資料第四輯 特別要視察人等情勢調査 岡山県特別高等課 昭和3年11月
3-5 特別高等警察資料第七輯 岡山県特別高等課 昭和4年1月
3-6 特別高等警察資料第八輯 稲作被害状況並争議対策ノ概況 岡山県特別高等課 昭和4年1月
3-7 特別高等警察資料第九輯 岡山県農民運動概況 岡山県特別高等課 昭和4年3月
3-8 特別高等警察資料第十一輯 無産者新聞ノ戦術ニ関スル諸調査 岡山県特別高等課 昭和4年5月
3-9 特別高等警察資料第十二輯 岡山県特別高等課 昭和4年10月
資料4 警視庁回付調査書等
4-1 昭和五年度労働運動ノ概況 警視庁特別高等課労働係
4-2 工場オルガナイザ―諸君ヘノ参考 日本労働組合協議会中部地方協議会
特別資料1 松野友治著「蠶籠」抜粋 私家本
特別資料2 松野友治執務メモ
本県に於ける社会主義運動の沿革(無題)
2-1 最近著レタル主義者ノ不穩行動ノ重ナルモノ
2-2 各種社会運動団体現勢表 警保局保安課 昭和3年8月
特別資料3

第6巻 『岡山県警察部特高課関係資料2』

- 資料5 三・一五事件検挙関係資料
5-1 日本共産党岡山地方委員会内容 岡山県警察部 昭和3年
5-2 捜査関係資料及び押収書類等 岡山県警察部 昭和3年
5-3 県知事申通報付 予審終結決定ニ関スル件 昭和3年9月3日
5-4 予審終結決定書 岡山地方裁判所 昭和3年8月31日
5-5 申通報 共産党公判ニ関スル件 昭和3年10月9日
5-6 申通報 共産党裁判官判二関スル件 昭和3年10月26日
5-7 申通報 共産党判決言渡ニ関スル件 昭和3年10月31日
5-8 申通報 共産党連座者動静ニ関スル件 昭和3年11月11日
5-9 岡山日本共産党事件被告人身上調査 岡山地裁検事局思想係 昭和3年11月
5-10 岡山日本共産党事件被告人感想録 岡山地裁検事局思想係
資料6 四・一六事件検挙関係資料
6-1 県知事申通報付 更生日本共産党員検挙の顛末 岡山県特別高等課 昭和4年5月1日
6-2 秘密結社日本共産党機関紙「赤旗」第二十七号写 岡山地裁検事局 昭和4年5月
6-3 暗号集 東京地裁検事局 昭和4年5月
6-4 日本共産党被疑者検挙状況調査 北海道庁 昭和4年5月
資料7 特高事務関係資料
7-1 特別高等警察主任会議指示事項並注意事項 岡山県特別高等課 昭和4年6月
7-2 特別高等警察主任会議参考指示附表書類 岡山県特別高等課 昭和4年6月
7-3 高等・特高警察事務打合せ 警察部長訓示 岡山県警察部高等課 昭和4年6月
7-4 高等・特高警察事務打合せ 高等警察二関スル指示、注意事項 岡山県警察部高等課 昭和4年6月
7-5 岡山県特別高等警察状況 岡山県特別高等課 昭和4年8月
7-6 特高警察二関スル各種調査事項 岡山県特別高等課 昭和5年11月
7-7 特別要視察人等情勢調査 昭和五年度 岡山県特別高等課 昭和5年11月
7-8 日本共産党組織一覽表 警視庁特別高等課 昭和7年10月30日熱海検挙当時

第7巻 『岡山県警察部高等課特高事務関係資料1』

- 資料8 警衛関係資料
8-1 高等警察係勤務心得他 岡山県警察部 大正15年
8-2 高等警察係勤務内規 岡山県警察部 大正15年
資料9 岡山県高等課独自調査書等
9-1 岡山県下米価問題騒擾概況 岡山県警察部 大正7年8月

第8巻 『岡山県警察部高等課特高事務関係資料2』

- 資料11 内務省警保局調査
11-1 内外在住朝鮮人情況 内務省警保局 大正11年
11-2 差別撤廃運動状況 内務省警保局 大正11年5月
11-3 在外邦人過激主義者ノ状況 内務省警保局 大正11年7月
11-4 支那人労働者取締状況 内務省警保局外事課 大正12年4月
11-5 社会運動研究資料第二輯(農民運動) 農民団体ノ無産政党组织運動 警保局保安課 大正14年3月
11-6 外事特別資料第二輯 対本邦赤化宣伝ニ関係アル各事例 警保局保安課外事係 大正14年5月
11-7 赤化宣伝研究資料第三輯 人間としてのレーニン 警保局保安課外事係 大正14年5月
11-8 主要労働団体一覽表 内務省警保局
11-9 各国に於ける社会主義的思想の要綱 内務省警保局 大正13年10月
11-10 インターナショナルと世界革命 内務省警保局 大正13年10月
資料12 高等課職務日誌
12-1 昭和八年度高等警察日誌
12-2 昭和九年度高等警察日誌
12-3 昭和十年度高等警察日誌
資料13 申通報等
13-1 不逞鮮人及仮政府質問ニ使用セラルル隠語ニ関スル件 警察部長通達 大正10年1月11日
13-2 不逞鮮人使用暗号ノ件 警察部長通達 大正10年1月22日
13-3 極左派ノ労働組合指導方針書ニ関スル件 警察部長通達 昭和2年12月2日
13-4 申通報 岡山労働学校設立ニ関スル件 大正11年9月13日
13-5 申通報 六高学生問題ニ関スル件 昭和2年12月14日
13-6 申通報 全日無産青年同盟状況ニ関スル件 昭和2年12月28日
13-7 申通報 農民水平運動調査方ニ関スル件 昭和3年11月
13-8 申通報 内地在留朝鮮人調査表回送ノ件 昭和3年11月
13-9 農民組合等ノ状況調査方ノ件 警察部長通達 昭和3年11月
13-10 申通報 高等学校ニ於ケル撤文貼付者ニ関スル件 昭和4年1月24日
13-11 申通報 第六高等学校支那留學生の停学処分ニ関スル経過ノ件 昭和4年1月27日
13-12 労働団体ノ党派別一覽表ニ関スル件 警察部長通達 昭和4年3月27日
13-13 申通報 各種要視察人要注意人所在不明者及之等人物ノ巡廻先ニ関スル件 昭和4年4月8日
13-14 特高(外事)教養施設ニ関スル件 警察部長通達 昭和4年5月7日
13-15 全産業労働組合宣言綱領競争方針書ノ件 警察部長通達 昭和4年7月30日
13-16 申通報 軍人トシテ警察権ニ対スル態度研究資料作成頒布ニ関スル件 昭和8年12月7日
13-17 申通報 旭川改修計画変更ニ伴フ百間川ノ大改修及改修計画ニ対スル全農果連其ノ他ノ策動状況ニ関スル件 昭和10年2月25日
資料14 運動団体現物資料等
14-1 「前衛」号外 大正11年4月29日
14-2 「前衛」号外 大正11年11月5日
14-3 「労働者よメーデーを祝へ」 大正12年4月20日
14-4 「労働者よメーデーを祝へ」 大正12年4月25日
14-5 全国の労働者諸君に訴ふ 大正12年6月
14-6 岡山水平社創立大会に來れ 大正12年4月
14-7 美作水平社創立大会に來れ 大正12年6月
14-8 人は尊きものなり
14-9 軍隊は牢獄なり 大正12年5月9日
14-10 労働問題大演説会
14-11 労働者諸君に告ぐ
14-12 メーデーが來た
14-13 「タゲ」発刊に際して
14-14 「学生社会科学連合会」(機関紙) 大正14年7月
14-15 労働農民党入党申込書
14-16 労働党替え歌
14-17 自由廃業の歌
14-18 水平歌
14-19 テロリストの歌
14-20 罷業に関する日本郵船会社の声明に答ふ 昭和2年3月
14-21 日本農民党宣言 昭和2年12月

資料10

- 9-16 水平社運動概況 岡山県警察部 大正12年4月
9-15 各種運動団体調及び要視察人名簿 大正13年7月末及び大正13年10月末現在 岡山県下ニ於ケル思想運動略史(一)
9-14 大正14年特別要視察人水平社等ノ情勢調査 岡山県警察部
9-13 大正15年特別要視察人水平社等ノ情勢調査 岡山県警察部
9-12 岡山無産青年同盟準備会ノ行動 岡山県警察部 大正15年3月
9-11 無産政党组织運動ノ概況 岡山県警察部 大正15年3月
9-10 昭和2年特別要視察人水平社等ノ情勢調査 岡山県警察部
9-9 特別高等警察一覽 昭和2年5月
9-8 特別高等警察一覽 昭和3年1月
9-7 岡山県婦人同盟内容調査 昭和2年10月
9-6 農業団体調査表 岡山県警察部 昭和3年1月
9-5 特別要視察人略式名簿
9-4 思想要注意人略式名簿 岡山県警察部 昭和2年9月
9-3 日本農民組合岡山県連合会調査表 岡山県警察部 昭和3年4月
9-2 別紙理由ニヨリ新夕ニ特別高等課ノ設置ヲ要望ス 高等課 昭和2年1月